

新年のごあいさつ



越前町長

青柳良彦

あけましておめでとございます。町民の皆さまには、輝かしい新年をつつがなく健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、日頃より町政の推進に格別のご支援とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和2年から約3年続いた新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「2類」から「5類」に引き下げられ、イベントをはじめ様々な活動が本格的に再開し、私たちの日常生活もコロナ禍前に戻ってまいりました。

一方、燃料・資源価格の高騰や円安の影響などによる物価上昇が依然として続き、家計にも大きな影響が及んでいる状況から、国においては国民生活の負担緩和に向けた対策に取り組んでいるところです。

また、7月から9月にかけては連日30度を超える真夏日が続き、県内でも最高気温の更新や真夏日の連続記録が塗り替えられるなど、異常な暑さに見舞われた年となりました。

県内においては、4月の知事選で杉本達治氏が再選を果たし、県民主役 チームふくくい」をスローガンに2期目がス

タートしております。

さて、本町におきましては、かねてより計画を進めておりました「越前町型サービス付き高齢者向け住宅」の建設工事に9月より着手し、現在、令和6年度の運用開始に向けて工事が進められているところです。

また昨年は、奨学金返還支援制度をスタートするとともに、高校3年生までの子ども医療費や小中学校給食費の無償化、乳児の育児用品助成などさまざまな支援を実施し、若者の定住促進や本町での子育て環境の充実を図りました。

さらに、物価高騰の影響を受けた町内の福祉事業所や飲食・小売事業者への支援、農業生産費の高止まりに対する農業者支援など、経済負担の軽減策にも取り組みました。

小中学校の再編については、地区説明会などで皆さまから頂いたご意見を基に、越前地区の四ヶ浦・城崎両小学校の再編準備委員会と、宮崎・越前・織田中学校の再編検討委員会を設置し、再編に向けた協議・検討を開始いたしました。

越前町は、来年2月1日に合併20周年の節目を迎えます。まちの将来を見据え、これまでも財政健全化に努めてまいり

ましたが、依然として町財政を取り巻く環境は厳しい状況にあります。今後も見直すべきところを的確に捉えて必要な取り組みを行い、持続可能なまちづくりを進めてまいります。そして「人にやさしく地域にやさしいまちづくり」を基本姿勢に、今年も子育て世代や若者への支援を充実し、人口減少の抑制に努めてまいります。

いよいよ本年3月16日には、北陸新幹線金沢～敦賀間が開業いたします。昨年11月の冠山峠道路開通と併せ、首都圏や中京方面から福井への人の流れが大きく変わるこの機会に、町としても、観光業をはじめ、農林水産業や商工業など地域産業の活性化にも注力してまいります。

今年も、町民の皆さまが「この町に住んでいて良かった」と実感できるまちづくりになり、全力で取り組んでまいりる所存でございますので、一層のご支援ご協力をお願いいたします。

年頭にあたり、町民の皆さまのご健康とご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



越前町議会議長

佐々木 一郎

あけましておめでとございます。令和6年の年頭にあたり、越前町議会議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より議会への深いご理解と議会活動への温かいご支援、ご協力を賜り、議員一同厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、令和2年初頭から続いた新型コロナウイルス感染症の影響で、地域活動は厳しい状況が続いておりましたが、昨年5月の2類から5類への移行に伴い、各団体の総会やイベントなどが開催されるようになりました。徐々にではありますが、コロナ禍前の元気で活力みなぎる越前町が戻ってきていると実感しております。

これもひとえに、それぞれの団体や実行委員会、そして、町民お一人おひとりが、努力されたおかげであると感謝申し上げます。

また、令和4年2月から続くロシアによるウクライナ侵略を背景とした国際的な原材料の高騰に加え、円安の影響によりガソリン価格や食料品、生活用品の価格が上昇しており、私たちの生活を取り巻く環境は厳しさを増しております。

さらに、昨年7月には梅雨前線による

大雨により全国各地で災害が発生し、本町においても農地などに被害をもたらしました。また、梅雨明け以降、30度以上の真夏日や35度以上の猛暑日が続く、ともに年間最多を更新するなど暑い夏となりました。

9月には織田病院の機能を拡充するため、これまでの医療に加え、住まい・介護・福祉を包括的に支援していくことが可能となる越前町型サービス付き高齢者向け住宅の建設工事が着手されました。

また、未来の越前町を担う子どもたちの活躍も目覚ましく、インターハイでの丹生高校男子・女子ホッケー部のアベック優勝、全国大会での朝日中学校女子ホッケー部の優勝をはじめ、丹生高校野球部が春季県大会で優勝したほか、弓道部、写真部などの文化部も活躍された一年となりました。この他にも、町内の児童、生徒が各種全国大会や北信越大会で数多く入賞されるなど、すばらしい活躍が多く見られた年となりました。令和6年も若い世代の躍動を期待するとともに、「越前町」を全国に発信して頂きたいと願っております。

さて、3月16日には、いよいよ北陸新幹線金沢～敦賀間の開業を迎えます。首都圏や海外などから一人でも多くの観光客が本町へ訪れることを期待しております。そうした明るい話題の反面、地方交付

税の減少など厳しい財政状況が続く中、人口減少の抑制、教育環境および福祉の充実、防災減災の強化、公共施設の老朽化対策など町政が取り組むべき課題が山積しております。

こうした中、町議会の果たす役割は、非常に重要であり、議会改革の一環として、昨年3月の議会定例会から、事務の効率化とペーパーレス化を目指し、議会活動においてタブレット端末を導入することなく皆様に開かれ、信頼される議会づくりを目指して参ります。

今年も議員一同、使命と職責をしっかりと踏まえ、より良い町づくりに努力傾注して参る所存でございますので、旧に倍してご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、町民皆様のご健康とご多幸を、そして希望に満ちた年となることを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。